

第72回総会研究集会

テーマ:学生のための大学図書館を問い直す: ユーザーエクスペリエンスの視点から

1. 趣旨

「オープンサイエンス時代にふさわしい「デジタル・ライブラリー」の実現に向けて～2030年に向けた大学図書館のロードマップ～」(「2030デジタル・ライブラリー」推進に関する検討会, 2024年7月1日)において、「オープンサイエンスとデータ駆動型研究の推進とともに、学修者本位の教育の実現に即した機能的変化が求められている」と指摘されている。本研究集会は、後半の「学修者本位の教育の実現に即した機能的変化」にフォーカスする。

はじめに、図書館長から、コロナ禍や生成AI、社会情勢が及ぼす学生の行動・教育現場の変化ならびに自館の課題や未来像等について話題提供し、次に、国内外の取り組み数例を紹介する。それらを踏まえ、学生が図書館利用により得られる価値や喜びを最大限に高めるための考え方や方策等について意見交換を行い、学生にとっての大学図書館の在り方を全体で考えたい。参加者各々が自館の「機能的変化」に向けたアイデアを得ることを目的とする。

なお、初の試みとして、ポスター発表を行う。

2. 運営担当者

司会: 次良丸章 (名古屋大学附属図書館事務部長)
記録: 端場純子 (浜松医科大学附属図書館学術情報課長)
梶原茂寿 (大分大学学術情報拠点学術情報課長)

3. 内容

(1) 趣旨説明 (5分)

佐久間淳一 (名古屋大学副総長・附属図書館長, 言語学)

(2) 話題提供: 教育者・図書館長の立場から (50分)

川合真紀 (埼玉大学副学長・図書館長, 植物生理・分子生物学)

柏原昭博 (電気通信大学附属図書館長, 情報学)

川島優子 (広島大学副学長・図書館長, 文学)

浜田久之 (長崎大学附属図書館長, 科学教育(医学教育)・内科学)

内田誠一 (九州大学理事・副学長・附属図書館長, 画像情報学)

(3) 話題提供: 国内外の事例 (20分)

金藤伴成 (京都大学附属図書館総務課長)

富岡達治 (名古屋大学附属図書館情報管理課長)

○休憩 (15 分)

(4) パネルディスカッション・全体ディスカッション (60 分)

パネリスト

川合真紀 (埼玉大学副学長・図書館長, 植物生理・分子生物学)

柏原昭博 (電気通信大学附属図書館長, 情報学)

川島優子 (広島大学副学長・図書館長, 文学)

浜田久之 (長崎大学附属図書館長, 科学教育(医学教育)・内科学)

ファシリテーター

内田誠一 (九州大学理事・副学長・附属図書館長, 画像情報学)

(5) まとめ (5 分)

佐久間淳一 (名古屋大学副総長・附属図書館長, 言語学)

4. ポスター発表

- ・ 事前に会員館に、「学生のための大学図書館」に関する取組みのポスター発表を募集し、総会初日から掲示する。
- ・ ポスター説明のための時間は設けないが、休憩時間等での対応を推奨する。